

海陽町立海南小学校

1 学校の概要

① 児童数 127名

② 校訓・目指す児童像

誠実・・・まじめで真心をもって接する子ども

親和・・・自他を大切にする子ども

忍耐・・・がまん強く挑戦する子ども



③ 環境に関わる目指す児童の姿

～繋がろう，地域と共に歩むエコプロジェクト

未来へ守り続けていこう，自然を大切にし，ふるさとを愛する子ども～

自らの生活や行動を振り返り，地域や自分たちの生活の中から進んで課題を見つけ，環境美化や環境保全について考え，行動し，学習の成果を家庭や地域に広げ，未来へ守り繋いでいこうと実践していく子どもの育成

2 行動方針

① 「節電」「ごみの分別」「リサイクル」に取り組み，行動できる実践的な子ども

② 地域と共に，大里海岸の松原の保全と環境美化に取り組み，環境保全を実践する子ども

③ 地域に出向いて，石碑や遺跡，校区内の清掃活動を通して，地域のよさに気づき，守り，大切にしようとして行動できる子ども

3 行 動



① 学校の節電・節水

- ・ 毎日，朝と昼の放送時に，節電を呼びかけるアナウンスを行っている。
- ・ 歯みがきは，水を止めて磨くようにしている。
- ・ 夏のエアコンの温度設定や使用しない教室のエアコンを切るなど消費電力の削減に取り組んだ。

② 牛乳パックやダンボールのリサイクル

- ・ 飲み終わった牛乳パックは中身を洗い、開いてからリサイクルしている。
- ・ 牛乳パックを洗った水は、学級園の水やりに使い、水道に流さないよう環境保全に努めている。

③ ペットボトルの蓋やプルタブの回収

- ・ 各家庭でペットボトルの蓋やプルタブを集めて学校へ持ってきてもらい、集まったものは人権・ボランティア委員会の児童が町の社会福祉協議会に持って行っている。

4 具体的効果

◆ 節電・節水による消費量の削減

- ・ 毎日の呼びかけにより、児童も教職員も節電・節水への意識が高まり、こまめに電気を消したり、水の出しっぱなしを減らしたりしていた。
- ・ 実際に、昨年度との消費電力を比較すると、今年度の消費電力量が減少した。

◆ 牛乳パック・ダンボールのリサイクル

- ・ 牛乳パックのリサイクルは、習慣化できており、全学年が取り組んでいる。

◆ ペットボトルの蓋やプルタブの回収

- ・ 今年度は、人権・ボランティア委員会が新しくポスターを作って呼びかけ掲示しているため、児童や職員の回収意識も高く、たくさんのペットボトルの蓋やプルタブの回収ができています。

5 改善点〔見直し、今後に向けて〕

◆ 家庭や地域への啓発

- ・ 学校での取り組みをさらに積極的にホームページ等で発信していきたい。

◆ 松原の保全活動への参加

- ・ 町教育委員会や地域の団体が行っている大里松原の保全活動などにも積極的に参加していく。